



みろく

—MIROKU—

Kambara
Family

No. 19

2022年7月1日発行

夢を引き継ぐ者③

20万トンドック建造計画の推進

立ちはだかる常識の壁を破壊する突破力

ました。

しかしこれらのドックのうち、修繕ドックは東京湾の2基と長崎湾の1基の3基だけでした。大阪湾から瀬戸内海はもとより、九州東岸一帯にかけては1基の計画もありません。つまり、この広い地域は超大型修繕ドックの空白地帯だったのです。

ビジネスとしての状況だけを見れば、神原秀夫をリーダーとする「チーム常石」の20万トンドック建造計画は「時代の歩先を読み切った見事な計画」だったのかもしれない。

四面楚歌を聞く

前項で紹介した通り、ビジネス状況のファクターを分析すれば、20万トンドック建造計画はタイムリーなものでした。しかし運輸行政や造船業

界の目を通してみると、それは「常識外れ」の二言でボツにされても仕方のない計画だったようです。

交渉のために東京に乗り込んだスタッフの運輸省（当時）との交渉は門前払い、造船・海運業界は会社の格と実績を持ち出して冷やかに笑うだけです。まさに四面楚歌の状態です。

手ぶらでは常石に帰れないと粘り強い交渉を続けたスタッフは、一つのヒントを得て常石の秀夫のもとに帰ります。それは、共同使用というアイデアでした。ここからは秀夫の行動力と交渉力の独壇場です。常石と東京を何度も往復して、行政と業界を説得して回ったのです。

運輸省も造船・海運業界も、瀬戸内海に超大型ドックの必

時代の歩先を読み切った計画

神原秀夫が20万トンドックの構想を発表したのは、昭和40年年初のことでした。この時点で稼働していた10万トン超のドックは、石川島播磨の建造ドックただ1基だけ。と

はいえ、日立造船、三井造船、三菱重工、川崎重工など、大手造船各企業は競争するように超大型ドック建造計画を推進させ、横浜に2基、長崎に2基、千葉に1基、坂出に1基、堺に1基と、計7基もの超大型ドックが具体化されつつあり

要性を認めて、共同使用という文言と秀夫やスタッフたちの熱心な説明に心を動かされたようです。こうして運輸省に申請が受理されたのは、昭和41年9月。計画が具体的に動き出してから、すでに1年以上の時間が過ぎていました。

申請が受理されてからも困難は続きます。大手・中堅の区別なく超大型ドックの建造計画ブームの到来という困難です。瀬戸内唯一の修繕ドックを謳い文句にした常石造船に対して、相生に20万トンの修繕ドックが、坂出には50万トンという途方もない修繕ドックの建造が計画されたのです。常石造船にとっては最悪ともいうべきシナリオが着々と進められようとしていました。

このピンチを覆したのは、常石造船をはじめ、三菱重工、日立造船、三井造船4社による「共同使用」という文言とともに、見積もり11億円という当時の超大型ドックの建造費としては破格の安さでした。

砂岩の海底が幸運を運んできた

20万トンドック計画を会社

関係者だけに打ち明けた時点で、秀夫はドックの建造予定地をすでに決定していました。その場所は常石からやや東側、平安時代の頃から「数名の泊り」と呼ばれていた海岸一帯です。

どこでどうやって調べ上げたのか、この海底に頑丈な砂岩が突き出ていることを秀夫は知っていました。この地域に砂岩帯と並行するように横付け式のドックを造れば、莫大な資金を必要とする基礎工事はほとんどいりません。

事実、常石の20万トンドックの建造費は本体工事だけで7億円、その他の付帯事業を含めても計11億円という金額でした。当時の超大型ドックの建設費には25〜30億円の費用がかかるといわれていました。中でも地盤が軟弱な地域では基礎工事に費用がかさみ、



20万トンドック竣工式での神原秀夫

50億円という途方もない金額に達したところもあったようですから、この金額はまさに「破格の安さ」だったといえるでしょう。

生涯最大のビッグセレモニー

20万トンドックの竣工式は、昭和43年10月27日の日曜日でした。完成したドックは長さ330m、幅53m、深さ10.5m、11万6千総トン、20万重量トンという、当時の瀬戸内海では最大のスペックを誇るものでした。

造船・海運の業界は、何かとセレモニーの多い業界です。長くこの業界に身を置いた秀夫は「セレモニーは派手で華麗でなければいけません」という思いを脳裏に刷り込んでいました。そんな秀夫をもってしても、今回の20万トンドックの竣工式は生涯で最大のビッグセレモニーだったといえるでしょう。

特急電車2両分の指定席から、政界、造船・海運業界の招待客が、新幹線開通前の福山駅に降り立ち、いったんは鞆の浦

の宿（貸し切り）に入り前夜祭、翌日は船で常石のセレモニー会場へ向かいました。

午前10時ちょうどから始まった竣工式は、政財界来賓の祝辞、秀夫の挨拶と続き、三井造船の進藤氏が注水槌を振り下ろすと、くす玉が割れ、ハトが飛び、巨大なドックに海水が注がれていきました。

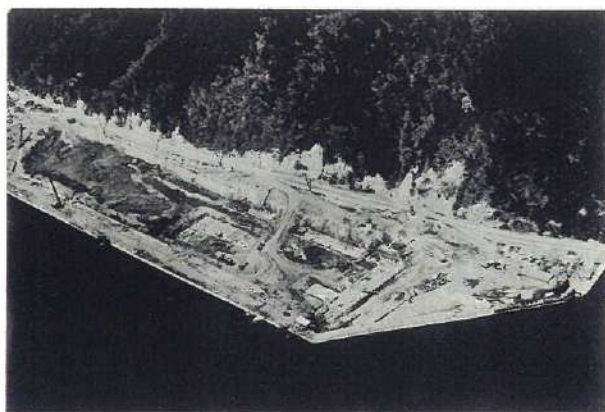
派手で華麗なセレモニーが終わると、招待客は動員され



20万トンドック完成直後



20万トンドック竣工式



20万トンドックの工事風景



20万トンドック竣工式、三井造船の進藤氏

たタクシーや社用車で瀬戸内海ヘルスセンター（現在のみらくの里の二部）に向かい、野外パーティーの始まりです。

とにかくこのセレモニーは、規模の大きさだけではなく、神原汽船、常石造船にとっても最も大きく、またいろいろな意味でエポックとなるものであったといえるでしょう。

この時、秀夫52歳。21歳から25歳まで兵士として中国戦線に身を置き、復員後32歳で神原汽船を設立。鉄鋼船を進水させたのは42歳、そして20万トンドックの建造が52歳。この間に、40歳の年齢で胃ガンを患い「あと10年は生きなければならぬのじゃ」と言いながらそれを克服。どんな状況においても未来だけを見つめて歩み続けて来た半生でした。

心の時代 神勝禅寺

20万トンドックの構想と並行するように、秀夫は新規事業を立ち上げます。カムテックスの前身となる神原タンククリーニングサービス、神原海洋開発、神原林業、神原食品興産、神原牧場、そして福山空港などです。

こうした事業家、企業家としての顔とともに、秀夫は仏教に強い興味を抱くようになりました。それは40歳の時に

体験した胃ガンとの戦いの中で生まれたのかもしれません。

それまではほとんど興味のなかった仏教の話に耳を傾け、自らも人に聞かせるようになっていきました。ガンを患う前は「自分の力こそがすべて」だと信じて疾走して来たようですが、「目には見えない大きな力」、つまり因縁というものを持つ独特の感性で理解したようにも思えます。仏教関係の書物を研究し、写経に没頭し、「心」というものの存在を確信したのかもしれません。

神原汽船社長として若き日を過ごした北九州の若松から西念寺を常石に移築して西念坊として再建したのは、そんな仏教への強い思いだったようです。西念坊だけではありません。臨済宗建仁寺派 神勝禅寺を建立して、神原家に連なる人々、さらには常石造船、神原汽船に関係するすべての人々の安寧を願ったのも、仏教の勉強と研究の中で培った秀夫自身の「心」の表れだったのかもしれません。



神勝禅寺



神勝禅寺の建立当時

神原家のレシピ 第2回

第3世代 神原佑子さん(右)
左は孫の藤巻真優さん



ハンバーグ

神原家に代々伝わる美味しい料理をご紹介します。

材料

- ・合いびき肉 600g
- ・玉ねぎ大 1個
- ・パン粉 1/2カップ
- ・卵 1個
- ・牛乳 100ml
- ・塩コショウ
- ・サラダ油

【ハンバーグソース】

- ・赤ワイン
- ・トンカツソース
- ・ケチャップ
- ・トマトジュース



作り方

- ①玉ねぎを、あめ色になるまでフライパンでしっかり炒める。
- ②ボウルにひき肉、炒めた玉ねぎ、残りの材料を入れて、しっかりこねる。
- ③8等分して成形する。中央をくぼませる。



- ④熱したフライパンに油を入れ、ハンバーグを並べて加熱。

片面が色よくこんがり焼けたら裏返し、
蓋をして火が通るまで蒸し焼きにする。



- ⑤ハンバーグを取り出し、赤ワインをフライパンに入れて沸騰させる。
残りのソースの材料を加える。



佑子さんより

孫と料理ができて本当に楽しかった。
いい機会を頂いて良かったです。

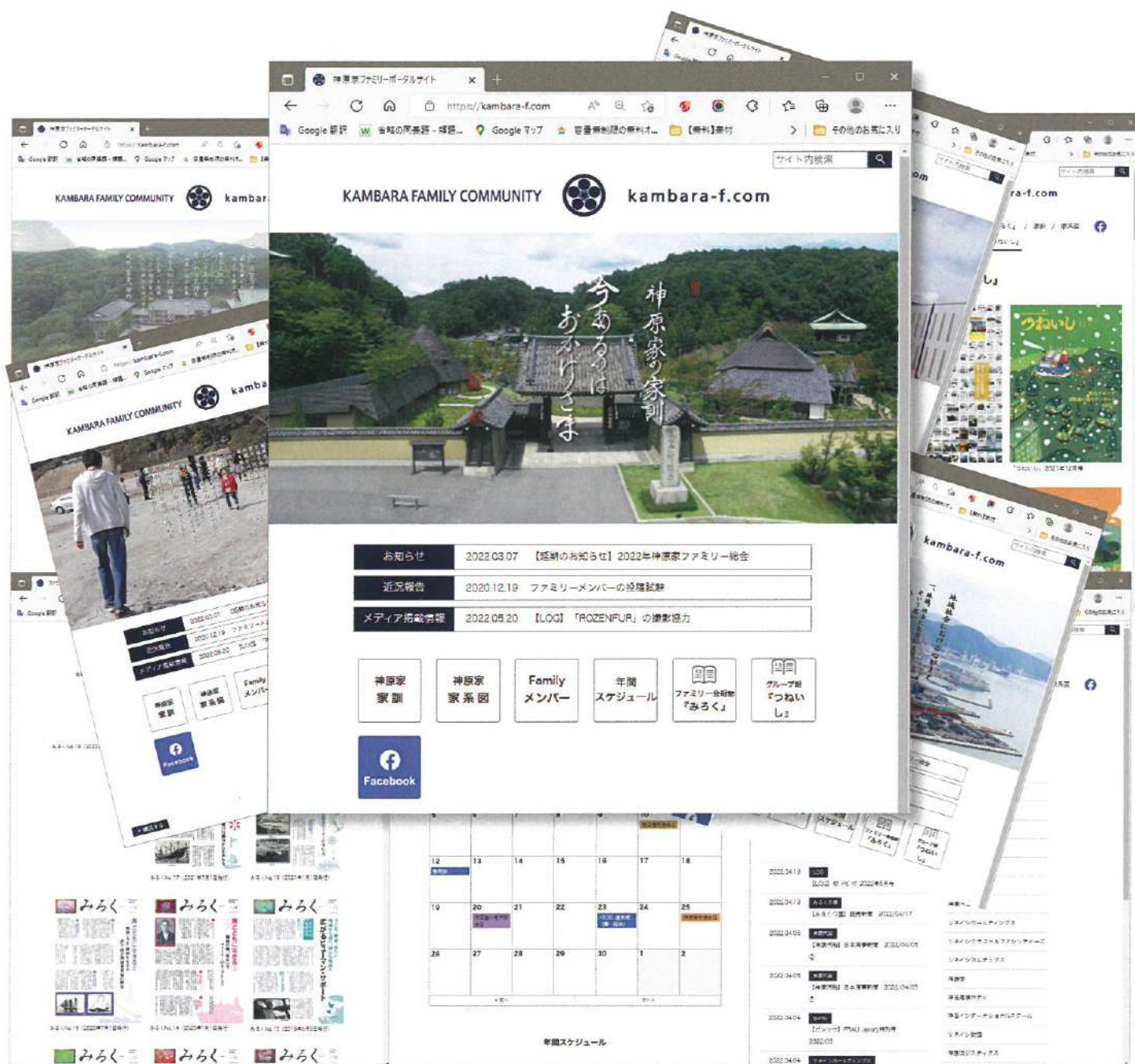
ファミリーHPのご案内

「ファミリーHP」のご案内です。HPでは、ファミリーに関するコンテンツを数多く掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。

- ・家訓・家系図・Familyメンバー・年間スケジュール
- ・ファミリー会報誌「みろく」(バックナンバー)
- ・グループ報「つねいし」(バックナンバー)
- ・お知らせ・近況報告・メディア掲載情報

ログインにはIDとパスワードが必要です。メールにてお問い合わせください。返信にて、IDとパスワードをお知らせいたします。

family-info@kambara-f.com



ファミリー予定

行事: ファミリー総会
開催日: 8月13日(土)
行事: 大般若祈祷法要
開催日: 9月10日(土)

第5世代
リレー
エッセイ
Vol.9



今『グッズ集め』に夢中です!

第5世代の方に、自分が「今」
好きなものを自由に紹介してもらいます。

神原 璃穂さん



私は今、様々なアニメや実況者たちのグッズを集めることに夢中になっています。

集めているのは主に、アニメのキャラクターが描かれたクリアファイルやラバーキーホルダー、そしてゲーム実況者の立ち絵が描かれた缶バッジなどです。皿やクリアポーチなども手に入れています。

どれもデザインが素晴らしく使いやすいです。

グッズを集める理由は、グッズを集めることで、「私はこの人が大好きなんだ!」と周りの人に知らしめる、アピールすることができる優越感を味わいたいからです。

本当のことを言うと、グッズに使われている推しのイラストが可愛かったり恰好良かったりして、「好き! 欲しい!」という衝動に四六時中駆られているからです。

学生であるため、そのほとんどは両親に頼んで手に入れているのですが、成人して自分で稼げるようになったら、ためらいなくつぎ込んでいこうかなと思っています。

私が本格的にグッズ集めを始めたのは中学2年生の頃でした。

その当時ハマっていたアニメの缶バッジをクラスメートから譲ってもらい、その後アニメイト(アニメのグッズ専門店のようなところ)に行って、自身が当時ハマっていたキャラクターのグッズを見て回ったことでグッズの良さにハマリ、そこからずっと機会があれば好きなキャラのグッズを買うようになりました。

コロナ禍前の時は実際に店舗に行ってグッズを買っていたのですが、コロナ禍の今は通販で買ってもらうことが多いです。通販になったことで多くのグッズが気軽に手に入りやすくなったので、グッズ集めがさらに楽しくなりました。

ただ高校3年生となり受験期に入ったので、あまりグッズ集めにうつつを抜かさず、勉強とうまく両立させていこうと思います。



>>> 次回は、
神原 彩花さんに
リレーします。
お楽しみに!

